

MarketFinder@sp

Ver3.9.1 追加／改修機能のご紹介

2021/01/20

 国際航業株式会社
KOKUSAI KOGYO CO., LTD.

本書では、MarketFinder@sp Ver3.9.1 で追加／改修した機能の紹介を行います。

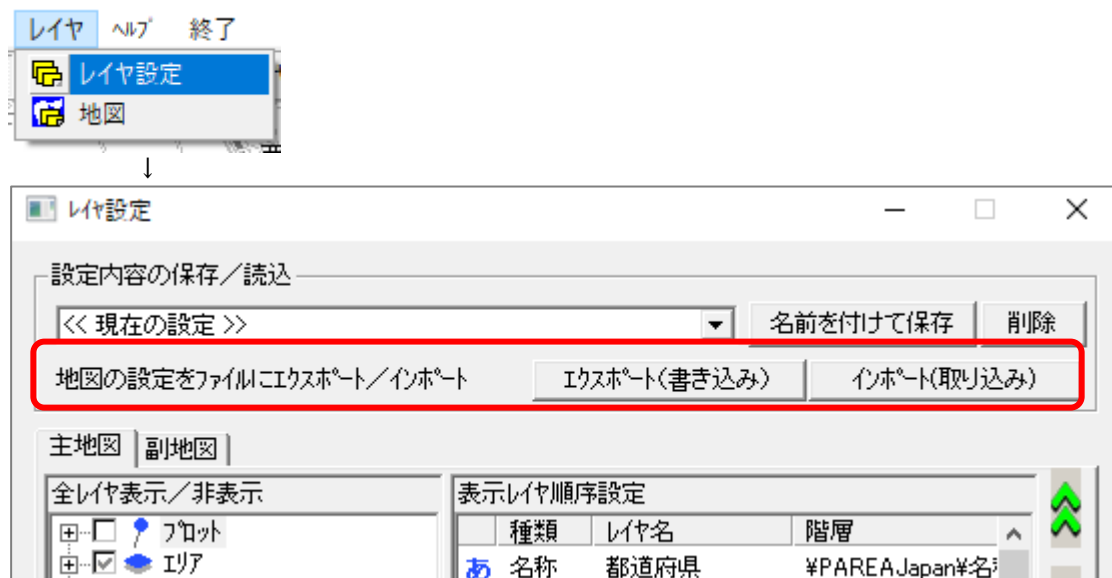
MarketFinder@SPVer3.9.1 では以下の機能を追加／改修しました。

- レイヤ
 - ・ 地図レイヤのエクスポート、インポートを追加
- 探索
 - ・ 経路探索で、地図上のプロットクリックでの地点選択時に、地点リストにプロット名を反映
 - ・ 1対多、多対1の経路探索で、複数のプロットを一括で選択可能に
- グラフ
 - ・ 集計結果の凡例名称を変更
- エリア
 - ・ ボロノイ商圈エリア作成機能を追加
- その他
 - ・ 高解像度ディスプレイ使用時の拡大縮小(150%等)で、画面が崩れず表示されるよう修正

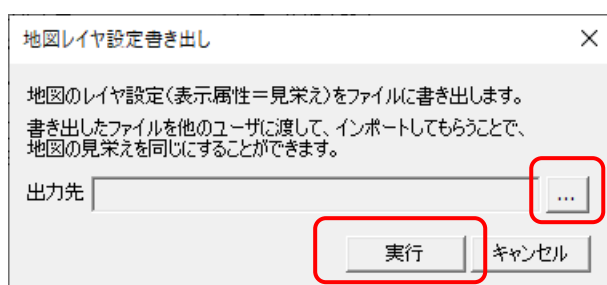
1 レイヤ

- (1) 地図レイヤのエクスポート、インポートを追加
「レイヤ設定」機能で設定した地図の表示属性(見栄え)を、ファイルに出力(エクスポート)し、取り込む(インポートする)機能を追加しました。
これを使うことで、自分が作成した地図表示設定をエクスポートし、このファイルを他の人に渡してインポートしてもらうことで、同じ地図表示設定とすることができるようになりました。

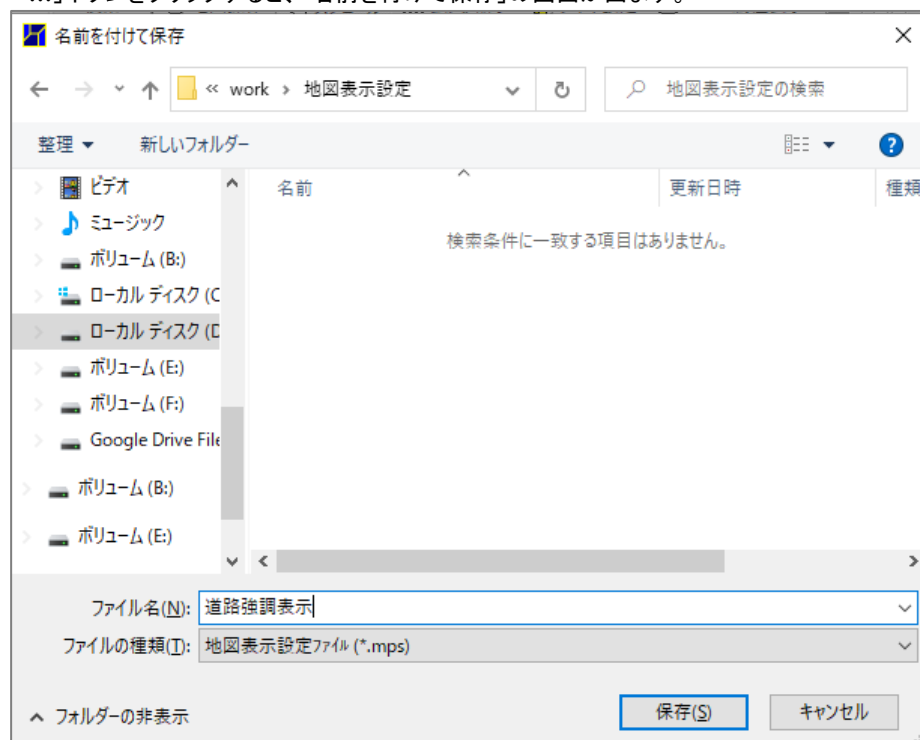
「レイヤ設定」画面に「地図の設定をファイルにエクスポート／インポート」を追加しました。



- ① 地図表示設定をエクスポートする
(1) 「レイヤ設定画面」で「エクスポート(書き込み)」ボタンをクリックすると、「地図レイヤ設定書き出し」画面が開きます。



- (2) 「...」ボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」の画面が出ます。

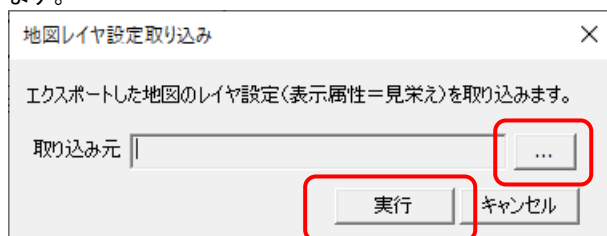


保存先フォルダを選択してファイル名を入力し「保存」ボタンをクリックします。

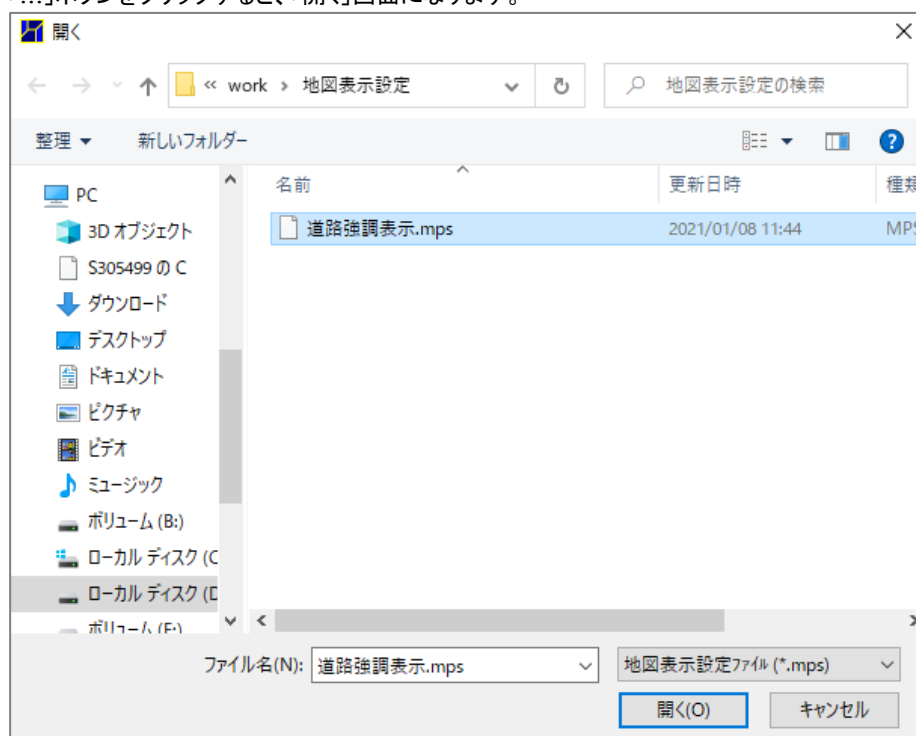
- (3) 「地図レイヤ設定書き出し」画面に戻るので、「出力先」に入力した内容が反映されていることを確認し、「実行」ボタンをクリックします。

② 地図表示設定をインポートする

- (1) 「レイヤ設定画面」で「エクスポート(書き込み)」ボタンをクリックすると、「地図レイヤ設定取り込み」画面が開きます。

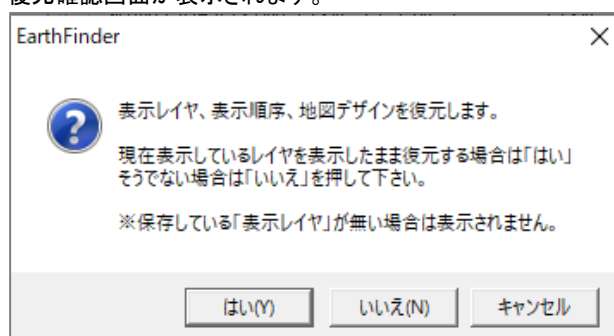


- (2) 「…」ボタンをクリックすると、「開く」画面になります。



取り込みファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

- (3) 「地図レイヤ設定取り込み」画面に戻るので、「出力先」に入力した内容が反映されていることを確認し、「実行」ボタンをクリックします。
- (4) 復元確認画面が表示されます。



この機能は、既存の「設定内容の保存／読込」と同じですが、「①地図表示設定をエクスポートする」で保存したファイルは地図レイヤの設定のみで、プロットやエリアの表示状態は保存されていないので、

「はい」

現在表示している地図以外のレイヤ（プロットやエリア）は表示されたまま、地図の表示設定のみが変更される。

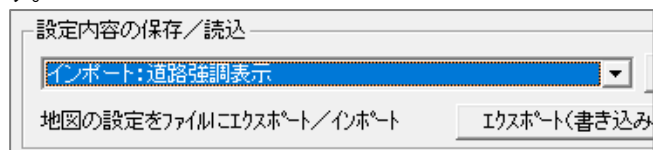
「いいえ」

現在表示している地図以外のレイヤ（プロットやエリア）は非表示となり、地図のみが表示される。

の動作となります。

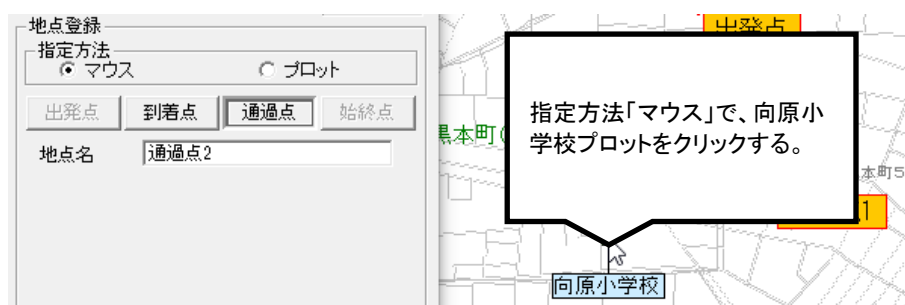
（「キャンセル」は設定ファイルの取り込みのみ行います。現在表示されている地図への反映は行いません。）

取り込んだ設定は、ファイル名の先頭に「インポート:」が付いた形で「設定内容の保存/読込」に反映されます。

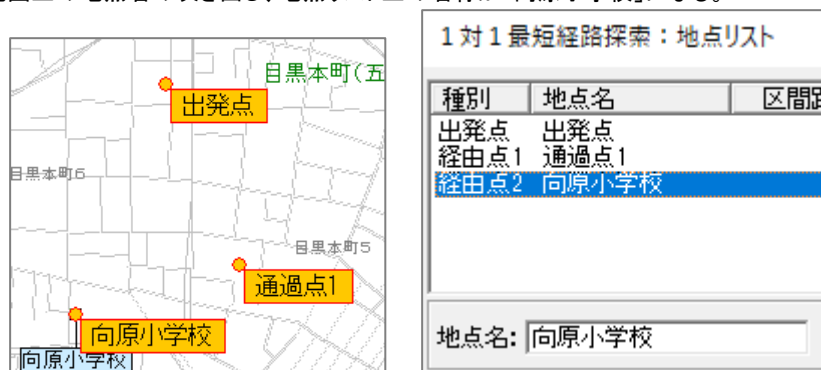


2 探索

- (1) 経路探索で、地図上のプロットクリックでの地点選択時に、地点リストにプロット名を反映
指定方法「マウス」で地図上をクリックしたときに、その地点にプロットがある場合でも、プロットは無視され、「通過点x」といった連番の名称になっていました。今回の改修で、地点名としてプロットの名称を採用するようにしました。



地図上の地点名の吹き出し、地点リスト上の名称が「向原小学校」になる。



- (2) 1対多、多対1の経路探索で、複数のプロットを一括で選択可能に
1対多、多対1の経路探索で、探索地点をプロットから選択する場合、1つ1つ選択することにより「選択」ボタンを押下することが必要でしたが、リスト上で複数のプロットを選択することができるようになりました。



- ※ 選択できる地点数は出発点・到着点を含め 500 個までです。
- ※ 経路探索はサーバの負荷が高いためこの上限は見直す場合があります。
- ※ 上限に達した場合でも「Oマウス」による地図クリックで地点を追加することは可能です。

3 グラフ

- (1) 集計結果の凡例名称を変更
凡例名称(タイトル)を選択した統計表名から、指標名に変更しました。



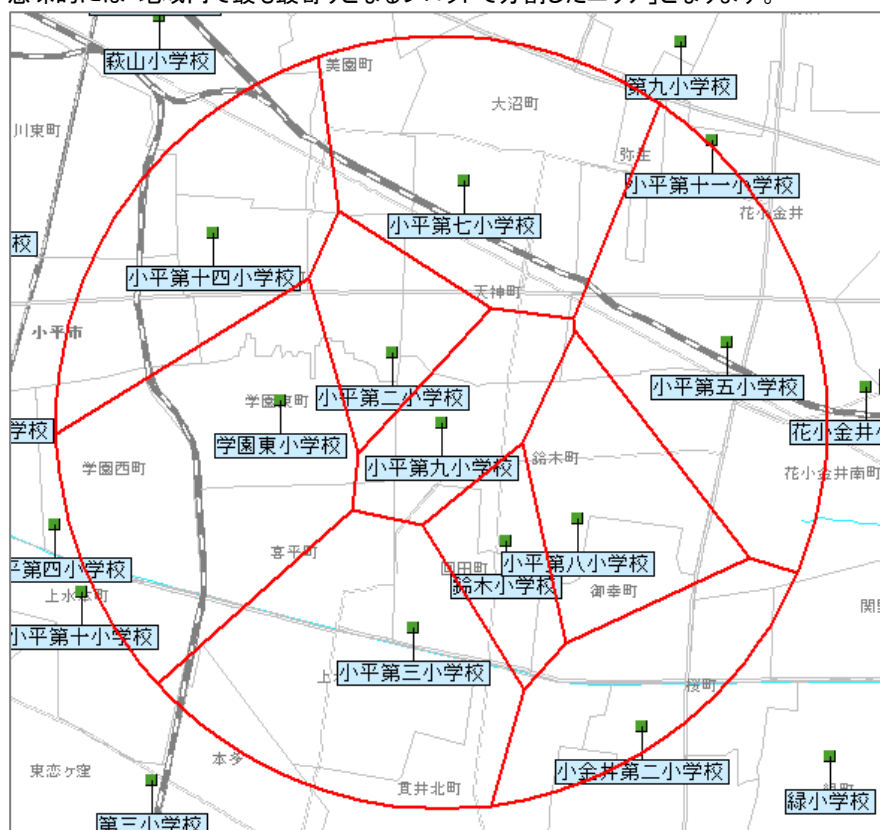
4 エリア

- (1) ボロノイ商圈エリア作成機能を追加
ボロノイ分割によるエリア作成機能を追加しました。

ボロノイ商圈エリア(ボロノイ分割)とは？

設定した商圈範囲(半径円)内で、隣り合うプロット間を結ぶ直線に垂直二等分線を引いて、商圈範囲を分割して作成したエリア。

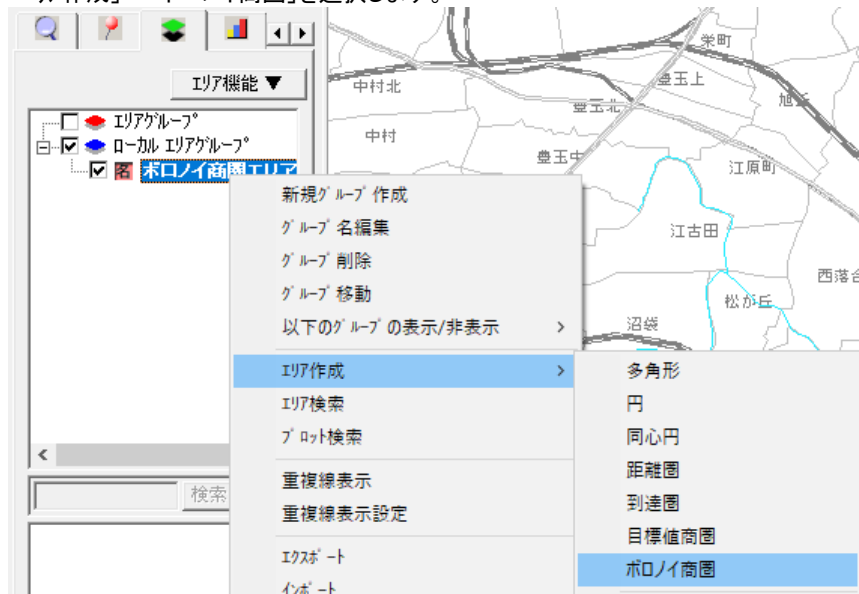
意味的には「地域内で最も最寄りとなるプロットで分割したエリア」となります。



上図は本機能を使って、「小平第九小学校」を中心に、半径2km を範囲として、その中をボロノイ分割したエリアとなります。各エリア内にそれぞれ1つのプロット(小学校)が属していますが、各エリアは、エリア内で最も最寄りのプロットがそのプロットとなるエリアです。商圈でいえば、店舗(プロット)が最も最寄り点となるエリア範囲を意味します。

■操作方法

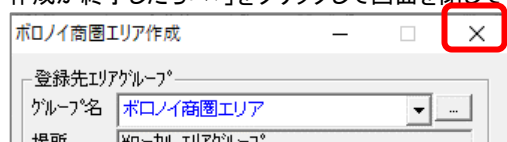
- (1) プロットパネルで、対象とするプロットグループを表示しておきます。
- (2) エリアパネルで、作成したボロノイ商圈エリアを格納するエリアグループを作成しておきます。
- (3) 「ボロノイ商圈エリア作成」画面を開く
(2)で作成したエリアグループを選択して、右ボタンクリックでメニューを表示します。
「エリア作成」-「ボロノイ商圈」を選択します。



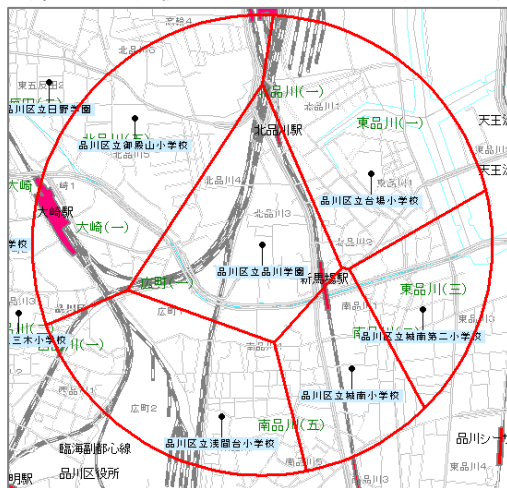
- (4) ボロノイ商圈エリアを作る
「ボロノイ商圈エリア作成」画面が表示されます。
以下を次ページの通り選択・設定して、「登録」をクリックします。

- ① ボロノイ商圏エリアを作成する中心プロットを選択します。(ここで選択したプロットもボロノイ分析点に含まれます。)
- ② 商圏半径を入力します。
- ③ 「競合店プロットグループ」を選択します。(ここでは①と同じプロットグループを選択していますが、必ずしも同一である必要はありません。)
- ④ 商圏半径円内の競合店プロットが一覧表示されるので、ボロノイ分析点とするプロットを選択します。
- ⑤ 作成したボロノイ商圏エリアを登録するグループ名を設定します。(初期値は「中心プロット名_半径」です。)
- ⑥ 「登録」をクリックするとボロノイ商圏エリアが作成されます。

作成が終了したら「×」をクリックして画面を閉じてください。



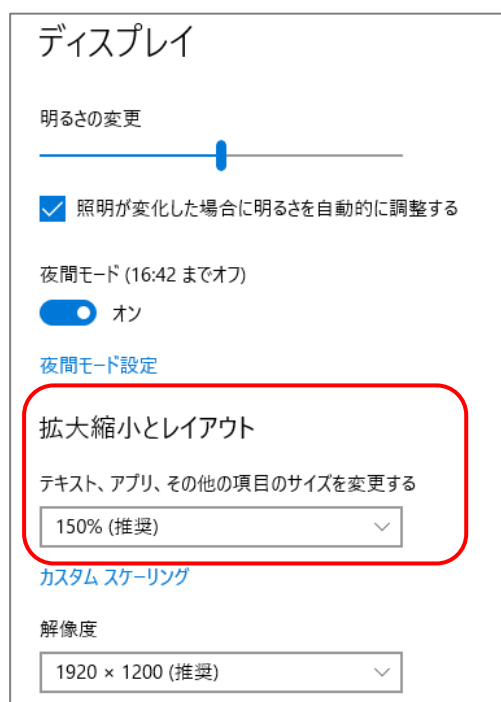
- (5) 登録先として選択したエリアグループに、ボロノイ商圏エリアが作成されます。



5 その他

- (1) 高解像度ディスプレイ使用時の拡大縮小モード対応
高解像度ディスプレイ使用時の拡大縮小(150%等)モードで、一部画面に崩れが発生していたため、100%表示モードでの利用をお願いしていましたが、今回のリリースで正常に表示されるように修正しました。
ただし、元画像を拡大して表示しているため、ボケた表示となっている旨ご了承下さい

※ 高解像度ディスプレイの拡大縮小モードとは：
1920×1200 など解像度が高いディスプレイでは、そのまま(100%)で表示すると文字等が小さくなり見づらい場合があるため、Windows10 の機能で拡大縮小して表示するモードです。
拡大縮小モードでの表示が可能な場合、「ディスプレイ設定」で以下が選択できます(赤枠の部分)。



以上